

長岡市立図書館資料選定基準

(中央図書館・西・南・北・中之島・寺泊・栃尾地域図書館)

平成5年3月31日制定

平成20年2月1日改正

平成21年12月1日改正

令和6年3月28日改正

1 原則

『長岡市立図書館の資料収集方針』に従い、各館は、その規模や機能といった特徴を踏まえ、それぞれに資料を選定する。さらに、お互いに資料収集を分担することにより、図書館全体として「基礎的な資料から専門的な資料まであらゆる分野について段階的に幅広く収集」することができるよう協力しあうものとする。

利用者が閲覧を希望する資料で、長岡市の図書館が所蔵していない場合は、蔵書構成等を考慮しながら、購入の可否を検討する。

2 各館の特徴と資料を収集する場合の基本的な考え方

(1) 長岡市立図書館の教育委員会組織は、次のとおりである。

ア 中央図書館

イ 地域図書館

西地域図書館、南地域図書館、北地域図書館、中之島地域図書館、寺泊地域図書館、
栃尾地域図書館

ウ 館外奉仕室

* 互尊文庫は市長部局所管であるため、資料選定基準選定基準は別に定める。

(2) 中央図書館について

長岡市における図書館サービスの中心として、市民のさまざまな要求に応えることはもちろん、地域図書館への資料的バックアップもできるよう一般図書・児童図書・専門図書・レファレンス資料など大学の一般教養課程程度までの資料を幅広く収集する。また、郷土資料については図書館の運営方針にうたわれており、美術資料については中央図書館建設時の基本計画にうたわれているように重点的に収集する。

図書館ネットワークを維持していくために長岡市全体（互尊文庫を除く）の資料管理を行い、蔵書構成を体系的で均衡のとれたものにする。

(3) 地域図書館6館（西・南・北・中之島・寺泊・枋尾地域図書館）について

地域図書館は、長岡市立中央図書館の分館として、乳幼児から高齢者まで日常生活の中で必要とされる資料を提供するため、各分野バランスよく収集する。

中央図書館や地域図書館同士で連携を図り、効率的に収集する。

また、日常的課題にこたえるレファレンス資料や、郷土資料、地域館ごとの特色資料を収集し、市民の調査や課題解決の支援の援助を行う。

(4) 館外奉仕室について

自動車文庫や団体貸出向けの資料を収集する。学校図書館をはじめとする貸出対象、貸出冊数、貸出期間を考慮して小説・実用書・児童書・絵本・紙芝居などを必要に応じて複数収集する。

3 各館で収集する資料種別

各館において収集する資料の種類は、次のとおりである。

| 図書館名 | 収集する資料 |
|--------|--|
| 中央図書館 | 一般図書・レファレンス図書（事典・年鑑）・専門図書・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・美術資料・郷土資料（貴重資料・古文書を含む）・外国語資料・視聴覚資料・雑誌・新聞・特色資料（伊東多三郎文庫＝歴史関係資料、笠輪勝太郎文庫＝長岡市郷土資料関係資料、川上四郎文庫＝絵本・児童画関係資料、斎藤和代文庫＝教育関係資料、酒井洋文庫＝工学関係資料（保管は南館）反町茂雄文庫＝長岡市郷土資料関係資料、星野慎一文庫＝ドイツ文学関係資料、堀口大学コレクション＝堀口大学関係資料、国書、漢籍、相澤家文庫）北館花火貴重資料 |
| 互尊文庫 | 別に定める |
| 西地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（昔話に関する資料、信濃川に関する資料） |
| 南地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ |

| | |
|----------|---|
| | ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（ユニバーサル文庫＝字幕付DVD・CD等、醸造に関する資料、醸造貴重資料、酒井洋文庫＝保管） |
| 北地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（緑花に関する資料、花火に関する資料） |
| 中之島地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・視聴覚資料・特色資料（凧に関する資料） |
| 寺泊地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（北前船に関する資料、海に関する資料） |
| 栃尾地域図書館 | 一般図書（レファレンス図書を含む）・児童図書・絵本・紙芝居・ヤングアダルト資料・雑誌・新聞・特色資料（上杉謙信に関する資料、錦鯉に関する資料） |
| 館外奉仕室 | 一般図書・児童図書・ヤングアダルト資料・絵本・紙芝居 |

以下、中央図書館の資料種別に従って、各々の選択基準を示す（地域図書館と館外奉仕室の資料の選択基準は、中央図書館の選択基準に準ずるものとし、異なるものについては後に館別に示す。）。

共通選定基準

- 1 各分野の基本図書を備えるほかに、小説、実用書、入門書、時代の要請にあった図書を重視し、収集する。
- 2 個々の内容や、利用価値、類書の有無を考慮し、適正な蔵書構成を保つよう収集する。
類書が多数発行される分野については、資料的価値や耐久性、所蔵状況等に留意して収集する。
- 3 ビジネス支援などの課題解決につながる資料は積極的に収集する。
- 4 通常の図書では読書が困難な市民も利用しやすい大活字本などの資料の収集に努め、誰もが読書に親しむことができる環境を整備する。

* 寄贈資料についても購入資料と同じ基準で収集する。

一般図書

総記（分類 0類）

- 1 情報科学・コンピュータに関する資料は、基本的な技術書・実用書を収集し、最新の情報を提供できるよう留意する。
- 2 図書館・書誌学・読書指導・著作権・出版に関する資料は、幅広く収集する。

哲学（分類 1類）

- 1 各分野の基本書を中心に収集し、入門書や概説書なども収集する。
- 2 宗教は、特定の宗教・宗派に偏らないよう考慮し、基本書を中心に収集する。
- 3 自己啓発・人生論や心霊・占い・姓名判断に関する資料は、厳選して収集する。

歴史・地理（分類 2類）

- 1 特定の歴史観や学説に偏らないよう留意して収集する。
- 2 伝記は、特定の人物に偏らないよう収集する。
- 3 旅行ガイドや地図は、新しい情報を提供できるよう収集する。また、情報の少ない国や地域に留意する。

社会科学（分類 3類）

- 1 さまざまな学説や主張を学べるよう、多様な観点から資料を幅広く収集する。
- 2 各分野の基本書を収集し、入門書や概説書のほか、実用書にも留意する。

- 3 社会科学は時代と密接に関わっている分野であり、時事性の高い資料を重点的に収集する。
- 4 法律及び税金・年金・介護など日常生活に必要な実用書は、法改正や制度改正に留意して収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 自然科学は専門化・細分化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 医療・健康・栄養学など関心の高い分野については、最新かつ信頼性の高い情報が求められていることに留意して収集する。

工学（分類 5類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 工学は専門化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 進歩の著しい分野であり、近年注目されている分野については積極的に収集する。
- 4 住宅・インテリア・ファッション・料理の分野は、趣味や実用に役立つ資料を収集する。

産業（分類 6類）

- 1 各分野の基本書を収集する。
- 2 産業は専門化されている分野であり、入門書や概説書までを収集の範囲とし、わかりやすく書かれた資料を中心に収集する。
- 3 各種産業の今日的課題を扱った資料を積極的に収集する。
- 4 園芸・ペットなどの分野は、実用性の高い資料を収集する。

芸術・音楽・スポーツ（分類 7類）

*中央図書館については、分類 700～759 は「美術資料」を参照

- 1 市民の教養・趣味・娯楽に役立つ資料を、鑑賞・評価と制作・実技などの両面にわたり収集する。

- 2 趣味として手がける人の多い分野については、入門書を中心に収集する。
- 3 美術全集・画集・写真集は、基本書を中心に収集する。
- 4 タレント本は、内容を吟味したうえで厳選して収集する。
- 5 マンガは原則的に収集しない。楽譜は図書形態の資料を収集する。

言語（分類 8類）

- 1 日本語・英語など主要な言語の基本書を収集する。
- 2 世界の言語については入門書から概説書までを収集し、広く学習されている言語については、文法や発音・学習法なども収集する。
- 3 主要言語の辞典は幅広く収集する。
- 4 あいさつ・スピーチ・手紙の書き方についての資料は、実用性の高いものを収集する。
- 5 全国の方言に関する資料も収集する。

文学（分類 9類）

- 1 市民の利用が多い分野であり、資料的価値やニーズ等に留意して収集する。
- 2 日本文学については、現代作家から古典まで幅広く収集する。
- 3 外国文学についても、日本文学に準ずる。
- 4 主要な文学賞受賞作品や読み継がれる名著は積極的に収集する。
- 5 個人文学全集については、没年が昭和21年以後の著者のものを収集する（没年が昭和20年以前の著者の個人文学全集は、中央図書館で参考図書として収集する。）。
- 6 児童文学関係資料は、絵本論や児童文学研究書を中心に収集する。

参考図書（専門図書を含む。）

中央図書館では「参考図書」という名称を次の資料の総称として用い、これを収集する。

| | | |
|------|---|-----------------|
| 参考図書 | { | レファレンス資料…………… 1 |
| | | 専門図書…………… 2 |

- 1 レファレンス資料は、記事の配列及び扱い方が通読されるようになっているのではなく、特定の情報記事が調べやすいようになっている資料とする。例えば、ア 辞典・事典・便覧・ハンドブック、イ 書誌、ウ 統計資料、エ 年鑑、オ 白書、カ 人名・

団体名鑑、キ 地図、ク 法令集、ケ 図鑑

- 2 専門図書は、一般市民が各分野で専門的な知識を習得するために必要な基礎的な図書とする。例えば、各分野の概論、研究史、資料集などや各分野の主要な方法論を明らかにしたもの、古典、原典などである。

総記（分類 0類）

- 1 百科事典、年鑑などは、レファレンスに利用される頻度が高いため、豊富な資料を収集する。
- 2 図書館に関する資料、書誌、目録類及び関係機関に関する資料は、積極的に収集する。
- 3 図書館資料の選択に必要な資料、書誌、改題及び目録類は、積極的に収集する。

哲学（分類 1類）

- 1 各分野の代表的原典を中心に収集し、研究書は適正な蔵書構成のなかで収集する。

歴史・地理（分類 2類）

- 1 さまざまな学説の原典や資料集を幅広く収集する。
- 2 多様な歴史観を学べるよう、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。

社会科学（分類 3類）

- 1 総論から各論まで幅広く収集する。
- 2 法改正や、社会の新しい動向に留意して収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 最新の学説や情報を常に提供できるよう留意する。
- 2 自然科学の各分野は、非常に細分化・専門化されているので、個別分野の高度な（大学の一般教養課程程度より高度な）専門書は、収集しない。

工学（分類 5類）

- 1 最新の技術や情報を常に提供できるよう留意する。
- 2 技術者や工学系学生が使用する高度で専門的な工学書は、各分野の基本書となる資料

を中心に収集する。

産業（分類 6類）

- 1 産業界の今日的主題に関わる資料を積極的に収集する。
- 2 長岡市と関わりが深い産業についての資料を積極的に収集する。

音楽・スポーツ・諸芸（分類 760～799）

- 1 趣味として手がける人の多い分野については、上級者向けの資料にも留意して収集する。

言語（分類 8類）

- 1 辞典類は、核となる資料であり、多様な言語にわたり収集する。

文学（分類 9類）

- 1 書誌・辞典・事典・便覧など文学研究の参考になる資料を収集する。
- 2 文学を対象とした研究者の著作・評論集などを収集する。
- 3 特定分野について体系的に著述されたシリーズを収集する。
- 4 個人文学全集については、没年が昭和20年以前の著者のものを収集する（没年が昭和21年以後の著者の個人文学全集は、一般図書として収集する。）。
- 5 成人を対象とした、児童文学研究とその関連資料を収集する。

児童書（絵本・紙芝居を含む）

共通選定基準

- 1 本との出会いや読書の楽しさを体験できるよう、子どもの求めに対応できる資料を収集する。
- 2 各分野で評価の定まった資料は、常に備えるよう努める。
- 3 新刊書は評価や内容について検討して収集する。
- 4 図書館で推薦する資料や、利用が多く見込まれる資料は、適切な数の複本を用意する。
- 5 調べ学習に役立つ資料は積極的に収集し、適切な数の複本を用意する。
- 6 子どもの知的好奇心を満たし、物事への興味や関心を深める資料を収集する。

- 7 長岡市で採択している教科書は収集する。(小学校用・中学校用)
- 8 長岡市についての調査研究に役立ち、子どもの関心に応えることのできる資料収集に努める。
- 9 豊かな想像力を養い、視野を広げることができる作品を幅広く収集する。
- 10 発達段階に配慮した、内容が正確でわかりやすい資料を収集する。
- 11 絵本から物語へ移行する年代の子どもたちが楽しめる作品を収集する。
- 12 すべての子どもたちが読書の楽しみを享受できるよう配慮し、点字付き絵本やさわる絵本、児童用大活字本、LLブックなどの収集に努める。

総記 (分類 0 類)

- 1 百科事典を中心に、調べ学習に役立つ資料を収集する。

哲学 (分類 1 類)

- 1 わかりやすい哲学、倫理、思想及び宗教の資料を収集する。
- 2 子どもたちの悩みにこたえられる人生論や心理の資料を収集する。
- 3 心霊・占いなどに関する資料は、厳選して収集する。

歴史・伝記・地理 (分類 2 類)

- 1 歴史は、正確な史実に基づいているものを収集する。
- 2 伝記は、被伝者の欠点も含めた全人間像が描かれているものを収集する。
- 3 地理は、最新の情報と正確な知識が盛り込まれているものを収集する。

社会科学 (分類 3 類)

- 1 社会に対する見方を広げ深めることのできる資料を収集する。
- 2 社会の新しい動向について記述されている資料を収集する。
- 3 国際理解を深めるために、海外の生活・文化をわかりやすく紹介している資料を収集する。
- 4 民話や伝説については、再話に際して元の話に則した表現がされているものを収集する。

自然科学（分類 4類）

- 1 科学的な物の見方や考え方を育てることができるような資料を収集する。
- 2 自然に対する興味を広げ、自然とふれあいたくなるような資料を収集する。
- 3 図、写真及びイラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

工業・技術・家庭（分類 5類）

- 1 科学技術とその応用について、わかりやすく書かれた資料を収集する。
- 2 乗り物・料理・手芸などは、子どもの趣向に留意して資料を収集する。
- 3 科学や技術の進歩にあわせ、新しい内容の資料を収集する。

産業（分類 6類）

- 1 各種産業について、わかりやすく書かれた資料を収集する。
- 2 ペットの飼い方や園芸は、実用性の高い資料を収集する。
- 3 産業の新しい動向にそった内容の資料を収集する。

芸術・スポーツ・遊び（分類 7類）

- 1 子どもが創作や制作の意欲を高めながら、楽しみ、遊べる実用性の高い資料を収集する。
- 2 子どもへの趣向や流行に留意し、幅広く資料を収集する。
- 3 図、写真、イラストなどを効果的に使った資料の収集に努める。

言語（分類 8類）

- 1 言語は語学の学習に役立つ資料を収集する。
- 2 主要言語については、入門的資料を収集する。
- 3 方言について、わかりやすく書かれた資料を収集する。

文学（分類 9類）

- 1 最も利用の多い分野であり、豊富な資料を収集する。
- 2 豊かな想像力や空想力を養い、視野を広げられる作品を中心に、幅広く収集する。
- 3 評価の定まった作家の作品収集に努める。

- 4 昔話の特長が損なわれたり、書き換えられていない資料を収集する。

絵本

- 1 ブックスタート事業に関連し、乳児向けの作品は積極的に収集する。
- 2 絵と文が一体化しており、ストーリーがわかりやすい作品を収集する。
- 3 多くの人に読み継がれてきた作品を積極的に収集する。
- 4 評価の定まった絵本作家の作品収集に努める。
- 5 信頼性のあるブックリストに掲載されている作品は収集に努める。

紙芝居

- 1 絵と文が調和し、子どもが楽しめる作品を収集する。
- 2 絵に表現力があり絵が美しく、はっきりと描かれている作品を収集する。
- 3 子どもだけでなく、大人でも十分楽しめる内容の作品も収集する。

マンガ（マンガ表現そのものを楽しむことを目的に制作された作品）

- 1 評価の定まった作品を厳選収集する。
- 2 マンガ文化に大きく貢献したと思われるマンガ家や社会的に評価されているマンガや美術的価値のあると思われるマンガについては美術資料として厳選して収集する。

ヤングアダルト資料

- 1 ヤングアダルト資料（10代から20代前半を対象とする）は、一般・児童図書など資料の枠を超え、利用者が本に出会う楽しみを知るきっかけとなる資料を収集する。
- 2 実用書では、多岐にわたる興味の枝を伸ばすことを目的とし、時代に沿った新鮮な内容で、本の作り手から工夫や意思が感じられる資料を収集する。将来的な職業選択や職場体験に役立つ資料に留意する。
- 3 文学は、現代の感性を生かした奥行きのある小説を中心に収集する。古典は、青春文学として読み継がれる作品を収集する。

美術資料（分類 700～759 以下の基準は中央図書館のみ適用する）

- 1 教養、趣味、鑑賞、研究、制作、技術など、入門書から高度な学術書まで、収集する。

- 2 美術全集、画集、写真集、工芸名品集などは、基本的なものを中心に収集する。
- 3 個人の画集は、掲載図版の重複するものがあるので、その内容を吟味し、作品を網羅できるものを収集する。
- 4 新潟県内の美術館や博物館の図録は郷土資料として収集する。県外のは展覧会の内容を選択して収集する。

郷土資料

- 1 郷土の歴史・文化を後世に引き継ぐため、長岡市に関する多様な資料を収集する。
- 2 利用者の郷土に関するあらゆる調査研究にこたえるため、網羅的に資料を収集する。
パンフレットやチラシ等、図書以外の形態の資料についても収集する。
- 3 資料の保存を考慮して原則として複本で収集する。
- 4 資料収集の優先順位を記す。
 - (1) 第一地区 長岡市（平成 18 年 1 月 1 日合併による市域）
 - (2) 第二地区 中越地区
 - (3) 第三地区 新潟県
- 5 第一地区に関する資料は、網羅的に収集することを原則とする。具体的には次のとおり。
 - (1) 長岡市の歴史、地理、地誌、自然などを取り扱ったもの（研究、記録、統計、目録、索引、写真など）
 - (2) 長岡の人、長岡の事柄を取り扱ったもの
 - (3) 長岡に伝わる事柄を取り扱ったもの（説話、伝説、民話、言葉、風俗、習慣など）
 - (4) 長岡を主要な舞台とするフィクション及びノンフィクション作品
 - (5) 市内官公庁の刊行する資料
 - (6) 市内所在の各機関の社史、団史
 - (7) 長岡市出身者、長岡市在住者など長岡市に特に深い関係を有する人々の作品、目録など
 - (8) 長岡市において出版されたもので長岡に関係を有するもの
 - (9) 長岡について記述されている雑誌、新聞、パンフレットなど
- 6 第二地区から第三地区に関する資料は、次のような資料を収集する。
 - (1) 県史、市町村史の類

- (2) 歴史、民俗、地理、地誌及び自然に関する資料
- (3) 文化財に関する資料
- (4) 各図書館、各博物館などの発刊した地域資料目録
- (5) その他、主要な資料

7 貴重書・古文書

歴史文書館と協議・連携を図りながら図書館が収集保存する資料・文書資料室が保存する資料を決定する。郷土に関する絵画等美術資料も収集保存する。

外国語資料

- 1 文学作品（外国語訳された日本文学・外国語の原書）を中心に、日常生活の参考になる実用書も含めて収集する。（英語、韓国・朝鮮語、中国語、ポルトガル語など）
- 2 優れた絵本や児童文学などを収集する。
- 3 画集やガイドなど、基本的な美術資料を収集する。
- 4 美術図書で、国内で発行されていない作家論、画集、研究書などを収集する。
- 5 英語多読資料については、所蔵状況、利用状況を考慮し、各レベルのバランスに留意して収集を検討する。

雑誌

- 1 市民の趣向や流行に留意し、各分野・他館とのバランスを考慮して収集する。
- 2 雑誌の休刊・改廃が生じた場合は、当該誌の分野や保存年数及び金額などを考慮して、各分野のバランスを崩さないよう、留意する。

新聞

- 1 主要な全国紙を中心に収集する。
- 2 新聞の改廃が生じた場合は、該当紙の分野や保存年数及び金額などを考慮して、各館で検討する。
- 3 新聞収集の単位は、原則として1年間とする。

視聴覚資料など

- 1 視聴覚資料は、各分野の代表的な作品を中心に、趣味・レクリエーション・ビジネス・

日常生活に役立つ資料を収集し、郷土史などの市販資料及び自主制作資料にも留意する。

(1) 音声資料は、CDを中心に収集する。音楽資料は発売後1年を経過した資料を収集対象とする。

ア クラシック音楽は、各部門の基本的な曲目で、音楽史に影響を与えた演奏を収録した資料

イ ポピュラー音楽は、各年代の代表的な曲目を収録した資料

ウ 民族音楽は、各民族の代表曲を収録した資料

エ その他の部門は、代表的な名作や名演を収録した資料

(2) 映像資料はDVDを収集する。著作権許諾済（上映・館内視聴・館外貸出のいずれかが可能）の資料を収集対象とする。

2 マイクロフィルム

(1) 新潟日報のマイクロフィルムを収集する。

特色資料

次のテーマに関する資料を体系的に収集する。

1 美術資料

2 堀口大學コレクション

堀口大學関係資料は、後世にこのコレクションを引き継ぐため、新たな資料が発行されたとわかったときは積極的に購入する。

3 伊東多三郎文庫（歴史関係資料）

4 笠輪勝太郎文庫（長岡市郷土関係資料）

5 川上四郎文庫（絵本・児童画関係資料）

6 斎藤和代文庫（教育関係資料）

7 酒井洋文庫（工学関係資料）＊保管は南地域図書館

8 反町茂雄文庫（長岡市郷土関係資料）

9 星野慎一文庫（ドイツ文学関係資料）

10 相澤家文庫（反町栄一関係資料）

11 国書

12 漢籍

各地域図書館の特色資料

1 各地域図書館の特色資料は以下のとおり

| 図書館名 | 特色資料 | 図書館名 | 特色資料 |
|----------|------------------------|---------|-----------------------|
| 南地域図書館 | ユニバーサル文庫 醸造に関する資料 | 西地域図書館 | 昔話に関する資料 信濃川に関する資料 |
| 中之島地域図書館 | 凧に関する資料 | 北地域図書館 | 緑花に関する資料 花火に関する資料 |
| 栃尾地域図書館 | 上杉謙信に関する資料 錦鯉に関する資料 | 寺泊地域図書館 | 北前船に関する資料 海に関する資料 |

2 美術資料（分類 700～759）は、一般図書として収集する。

3 教養書や実用書については、話題性の高い資料を中心に多様な資料がそろそろよう、資料の更新に留意する。

館外奉仕室

自動車文庫や各種団体に貸出するための資料を収集する。

1 一般、児童ともに利用の多く見込める資料（特に小説や絵本）を中心に収集する。

2 教養書や実用書については、話題性の高い資料を中心に多様な資料がそろそろよう、資料の更新に留意する。

3 学校配本等利用の多い資料については、十分な複本を用意する。

4 郷土資料は、一般図書として収集する。

5 美術資料（分類 700～759）は、一般図書として収集する。

6 選書にあたっては、一般書・児童書・ヤングアダルト資料の内容を吟味しながら収集する。

7 新聞、雑誌は収集しない。

8 視聴覚資料は収集しない。

※長岡市立図書館（中央図書館、西・南・北・中之島・寺泊・栃尾地域図書館）として次の資料は収集しない。

- (1) 個人が専有して使用することを目的として出版された資料（例えば、学習参考書、資格取得に関する問題集、ゲーム攻略本など）
- (2) 1回又は数回の使用でその利用価値が著しく損なわれる資料（例えば、ひらがな練習帳、シールブック、ぬりえなど個人による書き込み・切取りなどによらなければ利用価値が生じない資料や、壊れやすい立体絵本など）
- (3) 名作を安易に作品化したもの
- (4) 出版社が図書館での貸出を禁止している付録がある資料。ただし付録がなくても有用な資料は限定して収集する。